

■ 展示会情報

JEMIMAコーナーと委員会コーナーのご紹介

グランキューブ大阪 (中之島・大阪国際会議場)	小間番号
JEMIMA コーナー	26
JEMIMA MandC ポータル委員会	27
JEMIMA PA・FA計測制御委員会／機能安全調査研究WG	29
JEMIMA 温度計測委員会／JCS S協力WG	28
JEMIMA 校正事業者認定制度推進委員会フォーラム	—

JEMIMAコーナー (小間番号：26)

(社)日本電気計測器工業会(JEMIMA)のご紹介
JEMIMAのご案内ならびに刊行物紹介をご用意いたしております。
是非、お立ち寄りください！

MandCポータル委員会 (小間番号：27)

JEMIMAは、2003年4月1日に世界に開かれた「計測と制御のポータルサイト」を目指し、「MandCポータル」を和英同時にweb上に開設しました。

「[MandC 計測と制御のポータルサイト](#)」は、「製品の分類、製品名、取り扱い会社名」という基本情報の検索機能があり、製品詳細については各社ウェブサイトへリンクすることで、利用者には常時最新の情報をお届けすることができるようになっております。

また、豊富な技術解説なども提供しています。計測展当コーナーでは、直接お手に触れ、お試することも可能です。

是非、お立ち寄りください！

JEMIMA PA・FA計測制御委員会 機能安全調査研究WG (小間番号：29)

PA・FA計測制御委員会 機能安全調査研究WGの小間ではパネル展示とパンフレットの配布を行います。安全管理手法の転換、安全計装システム導入のメリット、新たな安全計装システムなどのテーマについて解説を行い、人に依存した安全管理手法からリスクアセスメントを導入した新しい管理手法への転換の必要性、安全計装システムのもつ種々のメリット、およびこのような新たな取り組み導入の歴史的背景などの情報をまとめ、当小間への来訪者各位にご紹介させていただきます。

また、当WG主催のテクニカルセミナーを開催します。

日時：平成16年12月10日(金) 11:30~12:15

場所：計測展2004 OSAKA会場(グランキューブ大阪)／11階 1102号室

講師には岡山大学工学部 システム工学科 教授：鈴木和彦先生をお招きし、「化学プラントにおける安全管理の高度化—安全計装システムとリスク低減—」と題してご講演戴きます。

是非、お立ち寄りください！

温度計測委員会／JCS S協力WG (小間番号：28)

当委員会では、JCSS協力WG委員を中心に温度計に関するJCSS（計量法校正事業者認定制度）の展示を行い、温度計のJCSS認定事業者等がJCSS校正についてご説明させていただきます。

また、JCSSの校正証明書記載例（解説付き）やトレーサビリティ証明に活用されるJCSSなどをパネルにしてご紹介致します。会期中に当委員会ブースにご来場いただいた方には、認定事業者の校正サービス対応状況（事業範囲拡大版）やJCSS関連用語集を盛り込んだ「温度計JCSS校正サービスハンドブック第2版」を贈呈いたします。

温度計のJCSS校正依頼をご検討の方、温度計のJCSS認定取得を計画の方は必見です。皆様のご来場をお待ちしております。

展示パネル：接触式温度計／放射温度計トレーサビリティ体系図（産総研ご協力）

JEMIMA温度計JCSS認定事業者校正サービス対応表ほか

贈呈：温度計JCSS校正サービスハンドブック第2版

（校正事業者認定制度推進委員会・温度計測委員会・JCSS協力WG編集

是非、お立ち寄りください！

JEMIMA 校正事業者認定制度推進委員会フォーラム（グランキューブ大阪 1009号室）

JCSSの校正証明書が求められるのは、どのような場面なのでしょうか？

校正事業者認定制度推進委員会では、フォーラム「広がる校正サービス—品質管理における温度計測を例として—」においてJCSSの校正サービスが行われている実際をご紹介いたします。

また、平成17年7月施行予定の計量法の改正によりJCSSが受ける影響や校正事業者やユーザがとるべき対策なども考えたいと思います。

特に、校正サービスを受けたい方、JCSS認定事業者の方、JCSSについて知りたい方は、ご聴講いただきたいと思えます。

フォーラムの開催は計測展初日12月8日です。

お聞き逃しのないよう、スケジュールを調整して頂き、多数のご参加をお待ちしております。

■フォーラム概要

開催日：平成16年12月8日（水）13：00～16：30

会場：グランキューブ大阪（中之島）1009号室

① テーマ 『計量法改正等における知的基盤政策の動向について』

福井正弘氏（経済産業省 産業技術環境局 知的基盤課 工業標準専門職）

JCSSが計量法の改正によってどのような影響を受けるのか。JCSSが産業界に果たす役割と新JISマーク表示制度、新JNLA制度におけるメリット。

② テーマ 『ユーザが求める校正サービス』

谷本勝美氏（（NPO）トレーサビリティ研究協会 理事（前、(株)ローム 品質保証部））

半導体プロセスの熱酸化炉の温度管理を例に、ユーザの視点から捉えたトレーサビリティと不確かさが普及しにくい要因とその対策を考え、計測器の使用現場が求めるJCSS校正事業とはどのようなものかをお話しします。

③ テーマ 『医薬品の製造及び品質と温度管理の意義』

橋本保高氏（住友製薬(株) 品質保証部）

医薬品の製造及び品質管理の現場における温度管理の実態、その意義（重要性）

④ テーマ 『温度計メーカーのJCSS事業の実際』

水真陽一氏（山里産業(株) 標準室室長）

温度計メーカーとして、顧客が求める校正サービスを提供するため10年前にJCSSの認定を取得しました。多様化するユーザの要求に応えるため、1100℃に拡大したJCSS校正事業を例として、メーカーが提供するJCSS校正サービスのメリットなどについてお話しします。

⑤ テーマ 『温度の標準供給とトレーサビリティ体系の整備』

新井 優氏（(独)産業技術総合研究所 計測標準研究部門 温度湿度科高温標準研究室室長）

JCSS校正の信頼性を支える温度の標準供給の仕組み、標準の国際同等性を確保するための活動、及び産業界のニーズに対応するトレーサビリティ体系の整備についてお話しします。

⑥ テーマ 『JCSSの現状及び普及への展望』

今井秀孝氏（(独)製品評価技術基盤機構 認定センター 技術顧問）

拡大するユーザニーズに対する取り組みを、国際的な動向並びに国内の基盤整備状況を踏まえて

紹介し、直面する課題への展望を試みる。

*講演内容等については予告なく変更することがあります
多数のご参加をお待ちしております！

[展示会情報へ](#)

[トップページ](#) | [製品検索・技術解説](#) | [統計データ](#) | [プレスリリース](#) | [セミナー・講演会情報](#) | [展示会案内](#) | [刊行物案内](#)
[JEMIMAについて](#) | [IT投資促進税制について](#) | [お知らせ](#) | [会員紹介](#) | [入会案内](#) | [関連リンク](#) | [会員専用サイト](#)

[お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#) | [English](#)

本ホームページに記載されている企業名、商品名の商標および登録商標は、それぞれの企業に帰属します。
All Rights Reserved. Copyright (C) 1997-2003, [Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association](#).